



3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！(祝)

本号では、卒業記念ということで、校長先生・村上先生よりメッセージをいただきました🌸

《 校長先生より 》

卒業に寄せて

ジュール・ヴェルヌの『十五少年漂流記』をみなさんは読んだことがありますか？

私は、あの少年たちが無人島に着いた時の状態を、4月はじめの学校生活のように考えることがあります。



無人島に立った少年たちは次のようなことを始めました。

- 初めて見る川、湖、丘、岬、浜などにいろいろと名前をつけた。そして、この島を「チェアマン島」と呼ぶことにした。
- やがて、島のリーダーを選ぶことになった。任期や再選についても話し合い、ゴードンを推薦した。
- ゴードンは初め、断りたいと思っていたが、しかし、何か起きた時にリーダーがいた方がいいと考え、引き受けた。みんなは「ゴードン万歳！」と喜んだ。
- 上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生の手伝いをした。
- そして、みんなで話し合い『島の生活目標』を決めた。

- ①恐れずに実行せよ ②常に努力せよ ③疲れは有益である



さて、今、一年を終えようとしています。それぞれの“ゴードン”を中心に、みんなで力を合わせて物事を成し遂げることの難しさや、苦勞の多さと、それ以上の喜びの深さや、すばらしさを知ることができたと思います。その中で得た自

信は大きく、みんなの姿がたくましく見えてきます。

しかし、個々にはまだ、精一杯せいいつぱい力を出し切れずに、新しい自分を発見できない人もいます。今一度……

①恐れずに何事も前向きに取り組んだか、②常に努力を怠おこたらなかったか、③日々の疲れの中から何を学んだかを振り返ってみて下さい。そこには、きっと新たな自分の課題かだいが見つかるはずです。

4月からは、いよいよ高校生。あの少年たちのように、英知を出し合い、助け合い、励まし合って新たな課題克服こくふくへ向けて、力強く一步を踏み出してくれることを願っています。

《 村上先生より 》

文字の力

最近読んだ漫画まんがの一場で、すごく印象に残ったものがあります。

その漫画は、まだ印刷技術も生まれていなくて本が珍めずらしかった時代、身分によっては文字を読むこともできない人が多くいた時代が舞台のお話でした。

文字を読めない人が、文字の読める人にこう尋たずねます。

「あの、文字が読めるってどんな感じですか？」

すると尋ねられた人はこう答えます。

「文字は、まるで奇跡きせきですよ。本当に文字はスゴいんです。アレが使えると、時間と場所を超越ちょうえつできる（「こえられる」という意味）。200年前の情報に涙が流

れることも、1000年前の噂話うわさはなしで笑うこともある。そんなの信じられます

か？文字になった思考しこうはこの世に残って、ずっと未来の誰かを動かすことだってある。そんなのまるで奇跡じゃないですか。」

📖裏面もあります

きっと本が貴重だった時代、文字を読むことが特別だった時代の人たちはこんな感動をもって本を読んでいたんだろうなと考えさせられました。もちろん現代は、動画やCDなど、文字を使わなくても人に言葉を伝えられる手段がたくさんあります。文字じゃなくても伝えられる時代です。ですが、そんな現代でも、「本」というものが今も大切にされていて、読書というものにみんなが夢中になることができるのは、文字のもつ力によるものではないかと思うのです。

4月の図書館だよりで、「本は世界の入り口だ」という話をしました。その思いは今、一層強くなっています。文字は時間や空間を越えて、あなただけに語りかけてきます。そんな読書という特別な体験を、今よりちょっとでも大事に思ってくれたらいいなと思います。

清少納言さんや紫式部さんはもうこの世界には生きていません。ですが、あの人たちの思いは、文字として本の中に生きているのです。（実は私が国語教師になったのはここにロマンを感じたからです。）古典だけに限りませんが、文字を通して出会う全てのものがあなたの財産になると信じています。本を読みましょう！



《 先生たちが影響を受けた本 》

3年部の先生を中心に、“影響を受けた本”について聞いてみました。

気になる本は、ぜひ高校などの図書館で借りて読んでみてください。

●小西先生

「北の海」

（井上靖／著 新潮社）

→優秀な学生が書道に没頭する姿にあこがれました。

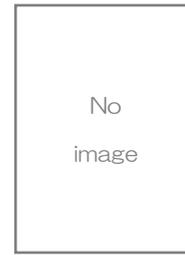


●都志見先生

「船木誠勝のハイブリッド肉体改造法」

(船木誠勝／著 ベースボール・マガジン社)

→科学的な筋トレや栄養学について影響を受けました。
大道塾という空手をやっていた大学生のころから
社会人になってボクシングをしていたときに非常に参考になりました。

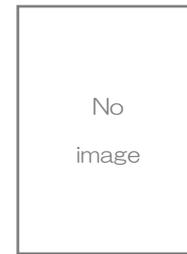


●金得先生

「保健室ものがたり」

(こんのひとみ／著 ポプラ社)

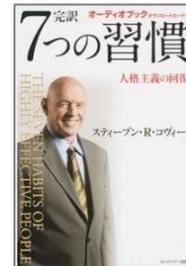
→保健室の先生になりたい！と思った時に読んだ本
です。今でも時々読み返してみても、保健室について
考えたりします。



●長藤先生

「7つの習慣」(スティーブン・R・コヴィー／著
FCEパブリッシングキングベア出版)

→思考力が鍛えられました。何度も読み返しています。



紹介した本の画像：版元ドットコムより引用 <https://www.hanmoto.com/>



一度しかない人生 出会う人はかぎられている
誰でも知り合いから始まる
どんな出会いであっても
自分と同じくらい 大切にしたい人が
一人でも多くいれば 人生は豊かになる
出会いを大切に



元気でね!

「そのままがいい」 田口久人／著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

